

令和4年度第3回 川崎市社会教育委員会議幸市民館専門部会 次第

令和4年12月21日（水） 午後2時
幸市民館 第1会議室

1 開 会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

- (1) 摘録の確認について
- (2) 管理運営実施状況等について
- (3) 社会教育振興事業について
 - ア 幸市民館社会教育振興事業
 - イ 日吉分館社会教育振興事業
- (4) 調査・審議事項について
- (5) その他

5 次回以降の日程について

第4回 令和5年2月5日（日）午後1時～ 幸市民館第1会議室

【来年度】

第1回 令和5年__月__日（__）__時～ _____館_____室

6 閉 会

【資料1】 令和4年度第2回川崎市社会教育委員会議幸市民館専門部会 摘録（案）

【資料2】 管理運営実施状況等

【資料3-1】 社会教育振興事業実施状況等（幸市民館）

【資料3-2】 社会教育振興事業実施状況等（日吉分館）

【資料4】 幸市民館専門部会 審議計画（案）

・市民館・図書館の管理・運営の考え方【概要版】

・「市民館・図書館の管理・運営の考え方（案）」に関するパブリックコメントの結果について

・事業募集チラシ

【資料1】

令和4年度第2回 川崎市社会教育員会議幸市民館専門部会 摘録（案）

日 時 令和4年9月12日（月） 午後2時～午後4時
場 所 幸市民館 第1会議室
出席者 平井委員、浦山委員、松井委員、大塚委員、夏井委員、片岡委員
欠席者 梅原委員、小泉委員
事務局 加藤幸市民館長、鈴木日吉分館長、松本社会教育振興係長、松下管理担当係長、

1 開 会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

（1） 前回専門部会の摘録について【資料1】

片岡委員 細かいニュアンス的なものは省いていいのではないか。議事録は公開されているので論理的に議事が進行されているのがわかればいいのではないか。

事務局 職員で検討して今回の摘録から反映させたい。

浦山議長 内容について参加委員から承認された。

（2） 管理運営・実施状況等について

事務局から【資料2】に基づいて説明

【質疑応答】

大塚委員 ホール客席工事は休館があるのか。

事務局 ホールの利用のない3日間程度を利用して行う予定。

大塚委員 トイレ工事は全面ではないのか。

事務局 大規模改修を控えているので、各トイレにつき和式を洋式に一つずつ程度改修予定。

片岡委員 LAN 工事終了後は市民への周知はどのように行うのか。LAN の説明はどのように行うのか。

事務局 市全体で行う事業なので、特に幸市民館独自で行う予定はない。LAN の貸出は通常業務では行っていない。また工事終了後、幸市民館には三つのWi-Fiルーターが配布されるが、全市民館利用者が利用できるのではなく、市民館事業で利用していく予定。一般の利用者には「KAWASAKI Wi-Fi」を利用している。今後、電波を良くする工事を計画している。

平井委員 他の市の施設では使い勝手の良いWi-Fiがあるが、幸市民館ではあるか。

事務局 他の市の施設でも利用しているのは「KAWASAKI Wi-Fi」だが、幸市民館では電波が弱いので、今後、電波を良くする工事を計画している。

浦山議長 「KAWASAKI Wi-Fi」は入れないサイトがあり、多少不便。また、高津市民館のように利用申請をすれば、利用者にも市民館内の有線LANの貸出をしてもらえるとよい。

事務局 教育委員会の方でも、Wi-Fiの使い勝手をどんどん良くしていこうということを考えているので、だんだん環境は良くなっていく予定。

浦山議長 これからオンライン会議などとの併用もあることから、環境が良くなることを願う。

(3) 社会教育振興事業について

ア 幸市民館社会教育振興事業

イ 日吉分館社会教育振興事業

いずれも事務局から【資料3-1】、【資料3-2】に基づいて説明

【質疑応答】

片岡委員 幸市民館の「5 青少年教室事業・謎走中」について、とてもいい事業。毎年継続できるとよい。市民館には若い人の参加が少ないので、参加した小学生が継続的に利用者になる工夫があったらよい。また事業内容を録画し、自分たちの振り返りに使い、客観的に見て反省材料にしたらいいかと思う。大人たちが仕掛けるだけでなく、若い人たちがイベントを作っていく支援をしていくようなあり方を工夫していただきたい。

公民館PRについて、若い人にアンケートを取ると「全くわからない」という。市民館だよりを回覧板で回すというが、世帯主から世帯主へ回される回覧板では中身の周知が若い人にされない。なにか一工夫が必要なのではないか。

日吉分館の「7 シニアの社会参加支援事業・スマホでつながる力を身につけて健康シニアライフ」について、つながる力をつけて周りをつなぐことで健康づくりというのもあるが、逆に「つながり疲れ」というのも若い人を中心に起きている。負の側面についても次の事業の参考にしていただきたい。

「9 地域コミュニティ交流学習事業・日吉あそびっ子クラブ」について、大人からあそびを提供するだけでなく、子どもは何をしたがっているのかということについてもアンケート等を取り、振り返りをして、この事業から出てきた課題について次につなげていただきたい。遊びは誰かから与えられるものではなく、自分たちから面白い中で生まれてくるもの。そういった支援もしていただきたい。

事務局 「謎走中」について、「PTA協議会」や「地域教育会議」等の団体に、幸市民館が事業の中身を提供するということができないかと考えている。実現には時間がかかるかもしれないが、「飛び出す市民館」ということで様々な場所できるとよい。また参加して楽しかった思い出が、今度は「運営として関わりたい」に変わって若い人の市民館利用が促進されるといいと長い目で見て考えている。

浦山議長 P T A協議会では「子ども放送局」という、子どもたちが取材をして生配信をするというのを考えている。事業の取材や生配信をするといったように、各団体が持っているものをつなげていけたらと思う。

事務局 市民館だよりのような紙媒体で若い人を取り込むというのは難しいと思うが、高齢者層には一定の効果があると考えている。若い方たちは、信頼のおける友人がいいといったものでしか市民館には足を運ばないという人が多いので、いかに口コミ（SNS含む）したくなるような魅力ある事業を計画するかということが大切かと思う。

大塚委員 SNS等を情報発信ができるアイテムとして見据えていかないといけない。最近二次元コードでの申込みを受けているが、以前中止になったときに二次元コードでの申込みをした方にはすぐに中止の連絡ができたが、電話、来館で受付をした方には連絡が取りづらかった。二次元コードでの申込みをしなかった方からは「わからない人は見捨てる気か」と言われた。高齢者層へのスマホ関連スキルアップという講座も必要だと思われる。

片岡委員 様々な人がそれぞれ選択しているため、メディアが分散されている。複数のメディアに同時発信するというのも大切。影響力を持っている「インフルエンサー」を市民館としても持つことが大切。

事務局 影響力のある人が「面白かった」と発信するだけで、次の事業の参加者が増える傾向にある。発信してもらえる内容にしていくことにも注意しながら行っている。

浦山議長 P Rのプロの力を借りる、市として発信する等、考えたらいいのではないか。

夏井委員 川崎市はLINE（ライン）でも情報発信を行っている。ホームページやLINEで情報を入手する時代。市民館の情報もLINEで発信してはどうか。複数で発信することで情報に触れる機会が多くなるのではないか。

浦山議長 発信は手間もかかるので、すでに情報発信をしている人や団体に発信をしてもらう等、活動だけでなく情報発信やP Rも連携してもらえるつながりをつくっていかないと、いくら職員の人手があっても足りないのではないか。

日吉分館については、「つながり疲れ」についても考慮していただきたいのと「日吉あそびっ子クラブ」についてもアンケート等、参加者の声を参考にしてほしい、次年度へつなげてほしい。

大塚委員 市民自主事業の数に比べて、市民館コミュニティ推進事業の多さは、趣味的要素を扱えるかどうかの違いではないか。市民自主事業でも扱える内容について考慮して募集をしていただきたい。

夏井委員 「16市民講師活用事業」で2名の方が市民講師として活躍を予定しているとのことだが、内容はどんなものか。

事務局 マジックと健康関連で、マジックの方は、ご希望の対象者や人数の兼ね合いから、すでに「IDOBATA SPACE」（幸市民館前喫茶室跡地）にて行っている。健康関連

の方は、市民講師側の都合でまだ実施には至らないが、「IDOBATA SPACE」で実際に市民講師が組立てたものがうまくいくかどうかを検証してみて、その後、段々と規模を大きくしていく予定。

夏井委員 「IDOBATA SPACE」は通りがかりの方が参加するとのことだが、広報はどのようにしているのか。

事務局 提案から実施までの期間がまちまちであるため、提案者がポスター等を自作して、「IDOBATA SPACE」に貼って広報をしている。また提案者の SNS を活用して集客をしている方もいる。提案者自身が SNS で発信をして、50～60名を集める提案もある。また小規模で楽しみたい方は、前日にポスターを掲示して、小さなコミュニケーションを楽しむ提案者もいる。発信の仕方が難しく、一律広報をするのがいいのか、その場合、掲載内容を決めるのは誰か等、課題があり、模索中。

良好なコミュニケーションを生む場であれば、大抵のことは実施ができるので、大塚委員から指摘のあったように、今までの市民館にはなかったような趣味的要素が色濃く出ている要因と思われる。

夏井委員 市民館コミュニティ推進事業に関して、参加者数がわかるといい。また、日吉分館の「日吉あそびっ子クラブ」は昨年度との変化があるか。ネットワーク新聞発行について、内容はどんなものか。

事務局 ネットワーク新聞について、次回配布する。「あそびっ子クラブ」についても次回回答をする。

浦山議長 「IDOBATA SPACE」については、市民館コミュニティ推進事業自体について発信していったらいいのではないかと。また市民館全体の事業の構造を知りたい。

(4) 審議テーマについて

浦山議長から【資料4】に基づいて説明

夏井委員から【別添資料】に基づいて説明

夏井委員 8月26日公表された「市民館、図書館の管理運営の考え方(案)」のパブリック・コメントについて、521件が寄せられた。A,B,C,D,Eに区分されているが、Dの意見については確認が必要なもの。Dが462件と多数。「4-2今後の市民館の目指す方向性に関する事」の中で、若い世代の参加者を増やす努力が必要という意見が出されている。16ページ「38」には幸市民館が名指しで意見を頂戴している。わかれば事務局から説明してもらいたい。30ページ「79」識字学級等の学習権の保障は、自治体が行うべき社会的責任だと考える。市が中立性を確保し推進をすべき内容との回答になっている。これはBランクでいい評価をもらっている。31ページ「80」指定管理者制度導入に関して、職員の役割について意

見をもらっている。「８２」「８５」では市民館職員やボランティア、各種団体との連携について具体的な仕様書の内容について意見あり。５７ページ「１７３」「市民館、図書館の管理運営の考え方」の内容について、出来上がったものについて一応市民にも意見を聞いておこうかということを感じた。５９ページ「１７８」学習権の保障ということで、人づくり、つながりづくり、地域づくりと言っているが、個人の学習の保障があってもよいのではないかという意見が出ている。

【質疑応答】

夏井委員 若い世代の参加が重要。青少年を対象にした事業を活発化すると、親世代、祖父母世代が関心を持ってくれる。そこから世代間交流が生まれてくる。また青少年事業の講師を祖父母世代に依頼する等、その中で「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」という中教審の答申にもつながってくるのではないか。

５６ページ「１６７」で幸市民館における人権講座で講師選定に区長の意見が反映されることがあったとあるが、わかれば事情を教えてほしい。

事務局 幸市民館の名称が上がっている項目に関しては、次回までに調査し、回答する。

夏井委員 教育の専門性や中立性が保たれているか問われているのだと思う。

【審議テーマ討議】

浦山議長 本日は、審議テーマの検討を行う。「夢を実現するまち幸区を目指して・区民との協働の促進策を考える」という審議テーマではどうか。若い人、世代間交流という内容も入れてはどうか。また非利用者の声もデータを参考にしながら、参加の促進策等についても考えてみてはどうか。

夏井委員 阿部市長時代に、市の予算を使って行う事業は個人のメリットではなく、地域に還元できるものを実施するよう指導があった。そうした中、市民自主事業は平成１５年にスタートした。趣味だと個人のお稽古事の延長になってしまう恐れがあるが、「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」につながれば、趣味の講座であっていいということで始まっている。

松井委員 講座の教室の先生が個人的に活動を行うと貸館に料金がかかる。市民館で行っている講座との区別がわかりづらい。市民館で行っていい講座、悪い講座をはっきりとしてほしい。

大塚委員 学校教育以外の社会教育は行っている。公共の事業と私の事業がある。公共の事業について説明がされた。審議といっても具体的なことを議論するというよりは、アドバイスや課題といったことについて意見を言う場。

片岡委員 それぞれの立場で意見を言えばいい。

指定管理者制度導入により、市民館と行政のつながりは強くなるかもしれないが、市民館と市民のつながりは弱くなってしまっているのではないかと心配している。

夏井委員 社会教育士の有資格者等ならまだしも、事業もやったことがない区役所職員が

モニタリングできるのか心配に思う。

片岡委員 つながり、協働、連携といった市民とのつながりについて担保できるのか。

松井委員 市民館と市民をつながなくてはいけない。幸区がしあわせなまちであるよう、近づけていかななくてはいけない。

片岡委員 消費者として幸せになるのか、市民として幸せになるのかという選択もある。サービスの享受者として幸せになる考えもあるが、それでいいのか。

浦山議長 サービスは提供されるばかりという考えでいいのか。住んでいるまちだから一緒にと考えていくのが自然ではないか。

夏井委員 そういう意味では、市民自主事業というのは市民が自ら提案して実施するという事業。その中で人材を育成していくことも大切。

浦山議長 協働で一緒に学ぼうというのが大切。市民自主だから勝手に、自己満足でやっていいということではなく、地域も一緒に学ぼうということが大切。自分の学んできたことが周りの人の役に立ったり、関心を広げたりするということを市民自主事業でやれたらいい。

平井委員 前は、市民自主事業を中心として、地域にどう還元していくかということだったかと思う。そこを確認しながら、地域につながりをつくっていきましょう、だから市民自主事業に着目していきましょうということだったかと思う。今回のことを踏まえ、今後は「区民と市民館との協働」ということにしたら、世代間交流についても考えられるし、指定管理者制度導入後に区民が取り残されてしまうのではないかということについても触れていけるかと思う。

夏井委員 「区民と市民館との協働」ということにすれば、様々な問題に広く触れていけると思う。

浦山議長 サブテーマ等について、事務局を經由して浦山議長に案が集まるようにしていき、次回専門部会までにサブテーマ案を出し合っていく。

片岡委員 役所が運営しているから、任せておけばいいと思いがちだが、役所も弱いところがあるというところを公に言って、皆さんの意見を聞いて助けてほしいということをしていいと思う。今回の幸市民館では、地の利の悪さという弱点を超える何かを一緒に考えていこうと市民に言って、力を貸してもらっていいと思う。多くの人の力を集める、引出すきっかけにする。役所に任せていると現状維持になってしまう。多くの人の縁の力を引出すきっかけをつくる市民館をつくるということを考えて提案をしていってもいいと思う。

浦山議長 では、9月末までに意見の集約をする。

事務局 今後は委員のみでメールでやり取りをしていただければいい。

片岡委員 今回は欠席者もいるので、市民館にハブになってもらい、来年度から自立していく方向でお願いしたい。

浦山議長 討論はあくまでも市民館専門部会内で行う。意見を集めるのみをメールでや

り取りする。

今後の討議方向は「夢を実現するまち幸区を目指して、区民との協働促進策を考える」を審議テーマとし、サブテーマ案について、市民館をハブとして集める。

事務局 毎回メールで案が届くたびに、委員全員に転送を行う。

5 その他

次回と次々回の日程調整を行い、以下の通り決定した。

次回日程について、12月21日（水）午後2時（幸市民館 第1会議室）

次々回日程について、2月5日（日）午後1時（幸市民館 第1会議室）

6 閉 会

幸市民館 管理運営実施状況等

1 日常管理について

施設の受付・設備保守・舞台運営・清掃などの業務に関して、各委託業者と連携・協力しながら利用者が快適に施設を御利用いただけるように管理運営を行っております。

2 補修工事について

	工事件名（内容）	施工場所	施工時期
1	市民館2階トイレ補修工事	市民館2階トイレ	令和5年1月～
2	ホール客席座面等補修工事	ホール客席	令和5年1月
3	市民館LAN回線延伸工事	市民館会議室他	令和4年12月～
4	舞台調光設備工事	ホール	令和5年1月
5	スプリンクラー逆止弁補修工事	屋上	令和5年1月

令和 4 年度 第 3 回幸市民館専門部会
幸市民館・社会教育振興事業

1 識字学級

- (1) 午前コース (水曜午前)
- 第 1 期 5/11～7/13 計 1 0 回 (第 2 期は 9/7 から開催)
- 登録者 19 名 ・ ボランティア 10 名
- 第 2 期 9/7～12/14 計 1 4 回 (第 3 期は 1/11 から開催)
- 登録者 28 名 ・ ボランティア 10 名
- (2) 夜間コース (木曜夜間)
- 第 1 期 4/14～7/28 計 1 3 回 (第 2 期は 9/8 から開催)
- 登録者 12 名 ・ ボランティア 9 名
- 第 2 期 9/8～12/15 計 1 2 回 (第 3 期は 1/19 から開催)
- 登録者 15 名 ・ ボランティア 9 名

2 識字ボランティア研修

午前コース (全水曜日) ブラッシュアップ研修 (ボランティア 10 名対象)

回	日程	内容	講師	参加者
1	2/8	講師と調整中	人材育成コーディネーター 吉田聖子	

夜間コース (全木曜日) ブラッシュアップ研修 (ボランティア 9 名対象)

回	日程	内容	講師	参加者
1	6/16	日本語学習テキストの有効な活用方法について	なし・グループワーク	10 名
2	10/13	学習者のニーズをふまえた識字日本語学習活動の組立について考える	人材育成コーディネーター 吉田 聖子	10 名

ボランティア入門講座 (最終回を除き全水曜日) (定員 20 名・申込 12 名・延人数 89 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	9/14	川崎市が目指す識字・日本語学習活動①	川崎市国際交流協会 島田 秀雄	9 名
2	9/21	地域で暮らす外国人市民の実情を知る①	人材育成コーディネーター 吉田 聖子	10 名
3	9/28	日本語ボランティアの取り組み	日本語学級ボランティア	9 名
4	10/ 5	日本語ボランティア活動の基礎を学ぶ	明海大学 外国語学部准教授 西川 寛之	10 名
5	10/12	同上	同上	9 名
6	10/19	活動の素材と組み立て方について学ぶ	人材育成コーディネーター 吉田 聖子	9 名
7	10/26	地域で暮らす外国人市民の実情を知る②	にほんごワールド 池田恵子、外国人市民	9 名
8	11/ 2	日本語学級見学	日本語学級ボランティア	9 名
9	11/ 9	今後の学習活動について考える	にほんごワールド 池田 恵子	9 名
10	12/ 3	川崎市が目指す識字・日本語学習活動②	地域日本語ネットワークのつどい	6 名

3 障がい者社会参加学習活動「サンデーフレンドパーク」

(全日曜日) (登録者 13 名)

回	日程	内容	参加者
1	5/8	顔合わせ・オリエンテーション〔幸市民館〕	9 名
2	6/12	スカイブリッジ・ソラムナード〔川崎市川崎区〕	12 名
3	7/10	そなエリア東京（防災体験学習）〔東京都江東区・国際展示場駅〕	9 名
4	9/11	迎賓館（バスハイク）〔東京都港区〕	13 名
5	10/9	生田緑地散策〔川崎市多摩区〕	12 名
6	11/13	神代植物園〔東京都調布市〕	11 名
7	12/11	クリスマス会・ボッチャ〔幸市民館〕	9 名
8	1/8	愛宕神社・初詣〔東京都港区〕	
9	2/12	宇宙科学探査交流棟・バスハイク〔相模原市〕	
10	3/12	三ッ池公園〔横浜市鶴見区〕	

4 平和・人権・男女平等推進学習

(1) 平和と戦争について考える ～過去・現在・未来へつなぐ世界～

全 6 回 全木曜日 (定員 20 名・申込 10 名・延人数 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	11/24	ウクライナ人道危機に対する支援と現状	認定 NPO 法人ジャパン・プラットフォーム	7 名
2	12/1	川崎市平和館見学	川崎市平和館 専門調査員 暉峻僚三	6 名
3	12/15	昭和のくらし博物館見学	昭和のくらし博物館職員	5 名
4	1/12	日本におけるウクライナとの交流(歴史・文化)	日本ウクライナ友好協会理事 オクサーナ・ピスクノワ	名
5	1/19	ウクライナ侵略について知る	東京大学名誉教授 塩川 伸明	名
6	1/26	平和な社会実現のためにできることを考える	川崎市平和館 専門調査員 暉峻僚三	名

(2) 災厄への備えと人権

全 7 回 全火曜日 (定員 20 名・申込 12 名・延人数 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	11/8	災害時子どもにやさしい空間の作り方	NPO 法人災害時こどものこころと居場所 サポート理事 湯野 貴子	9 名
2	11/15	災害に備える「防災脳」を活性化!	明治安田生命保険相互会社 北村 香苗	7 名
3	11/22	予測ができない地震に備える!もしものときのアクションプラン	明治安田生命保険相互会社 土屋 由里子	4 名
4	11/29	気候危機と「子どもの権利」	神奈川県ユニセフ協会事務局長 関山 万里子	6 名
5	12/6	紛争、感染症…!危機下の子どもたち	神奈川県ユニセフ協会事務局長 関山 万里子	6 名
6	12/13	男女共同参画の視点から避難所運営	川崎市男女共同参画センター (すくらむ 21) 脇本 靖子	中止

7	12/20	コロナ禍での多文化共生、ヤングケアラー	川崎市ふれあい館 副館長 鈴木 健	名
---	-------	---------------------	----------------------	---

(3) 川崎の戦争を伝えるデジタルアーカイブ みんなで制作しませんか

全3回 全土曜日 (定員 12 名・申込 10 名・延べ人数 23 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	12/3	体験者から聞く、ストーリーマップを組み立てる	東京大学大学院学際情報学府	8 名
2	12/10	デジタルアーカイブを制作する	修士2年 三上 尚美	8 名
3	12/17	発表する	川崎市平和館専門調査員 暉峻 僚三 (初日のみ)	7 名

5 青少年教室事業 (小・中・高校生対象事業)

11/26 (土)「謎走中! (めいそうちゅう)」 延べ参加人数 56 名

(内訳) 小学生 42 名

高校生ボランティア 3 名

地域教育会議 6 名

P T A 協議会 1 名

その他 4 名

6 青年教室 (成人対象事業)

上記、青少年教室事業とともに実施

7 シニアの社会参加支援事業 さいわい「健“幸”(こう)講座」

全5回 全木曜日 (定員 20 名・申込 19 名・延人数 63 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	10/6	健康診断結果の見方を学ぶ	川崎市立井田病院 健康管理室室長 奥 佳代	11 名
2	10/13	中高年における健康行動	川崎市立看護大学教授 須崎好香	10 名
3	10/20	病気やけがをしても、回復できる体づくり	川崎市立川崎病院 リハビリテーション科職員	13 名
4	10/27	こころの健康のために	徳洲会日野病院 看護部長 荻野 智美	15 名
5	11/10	これからも地域で自分らしく暮らすために	かしまだ地域包括支援センター所長 まちのおと (さいわい SDC)	14 名

8 高齢者セミナー

(1)「楽しく学ぶ認知症講座～安心したセカンドライフをおくるために～」

全2回 全金曜日 (定員 20 名・申込 9 名・延人数 16 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/29	認知症の理解・認知症ケア	明治安田生命による	8 名
2	8/5	認知症の予防・思い出を書こう、語ろう	明治安田生命による	8 名

(2) 私と家族の「そうぞく」講座

全2回 全金曜日(定員20名・申込 名・延人数 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	2/3	相続と争族のはなし	明治安田生命による	名
2	2/10	最適な「MY ライフ&エンディング」を考えよう	明治安田生命による	名
3	2/17	笑顔を運ぶ「遺言」のお話	明治安田生命による	名

(3) 飛び出す市民館

回	日程	内容	開催依頼主	講師	参加者
1	11/17	スマホ講座	シティコア新川崎	ネットでeシニア	11名
2	1/29	スマホ講座	ファインフィールズ自治会	ネットでeシニア	名
3	12/22	マイナンバー制度	河原町団地7.8.9号棟自治会	マイナンバーカードセンター	名
4		スマホ講座		ネットでeシニア	名

9 家庭・地域教育学級

「子どもが楽しく食べるための学び」

全5回 全木曜日(定員20名・申込4名・延人数16名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	5/12	オリエンテーション	社会教育振興係職員	3名
2	5/19	家庭でできる親子遊び	地域みまもり支援センター保育士 渡辺 由紀江	3名
3	5/26	離乳食の基本を知る	地域みまもり支援センター栄養士 秋元 佑香	4名
4	6/2	子どもの口腔ケア	健康福祉局保健所健康増進課歯科衛生士 太田 晴美	4名
5	6/9	食品ロスを学ぶ	グリーンコンシューマーグループかわさき 徳野千鶴子・竹内より子	2名

10 市民館保育活動

各講座に応じて適宜実施(別室保育)

11 PTA家庭教育学級講師派遣

各小学校PTAの計画により実施

12 子育て支援啓発事業(第2, 4火曜日午前)

1期:対象:主に1歳未満のお子さんとその保護者

定員:8組(希望者多数の場合は入替制)

2期:対象:0~2歳のお子さんとその保護者

定員:10組(希望者多数の場合は入替制)

13 市民自主学級

今年度該当事業なし

14 市民自主企画事業

(1)「親子で環境問題に取り組む初めの一步として」【実施団体：クローバーズ】

対象：環境問題に関心のある方、または親子

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/31 (日)	SDGs って何？&みつろうラップを作ってみよう！	聖心女子大はなはな SDGs サークル	12 名
2	8/6 (土)	生ごみコンポストから畑へ 堆肥の利用&野菜収穫	生ごみリサイクルリーダー 川田 篤	10 名
3	11/3 (木・祝)	収穫した野菜でハーブオイルを作ろう& 段ボールコンポスト	生ごみリサイクルリーダー 川田 篤	11 名

(2)「わくわく！ドキドキ！大人も子どもも楽しめる おもしろサイエンス工房パート3」

対象：小学校3年生以上（大人含む） 【実施団体：サイエンスカフェさいわい】

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/3 (日)	信号機を作ってみよう	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 千葉 信吾	27 名
2	7/24 (日)	モーターで動くホバークラフトを作ろう	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 山崎 和喜	18 名
3	8/20 (土)	太陽エネルギーを使ったソーラーカーを作ろう	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 田中 克己	21 名
4	11/12 (土)	にじいろの涙	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 野田 博	20 名
5	12/18 (日)	七色の炎	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 野田 博	13 名
6	1/15 (日)	静電気モーター	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 松永 宗三	名

15 市民エンパワーメント研修「動画クリエイター入門講座」

全5回 土曜日（最終日のみ日曜日）（定員12名・申込35名・延人数 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	12/3	撮影や動画の構成について学ぶ	株式会社カタルチア アナウンサー	12 名
2	12/10	実際に映像を撮る、動画編集について学ぶ	同上	12 名
3	12/17		同上	12 名
4	1/7	オリジナルの動画制作	同上	名
5	1/15	動画編集・発表	同上	名

16 市民講師活用事業（育成・開設）「得意を生かそう！市民講師で」

全3回 全土曜日 （定員10名・申込3名・延べ人数6名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/2	オリエンテーション	社会教育振興係職員及び参加者	2 名
2	7/9	市民講師を体験しよう	社会教育振興係職員及び参加者	2 名
3	7/16	まとめ	社会教育振興係職員及び参加者	2 名

17 PTA活動研修 全6回 全土曜日（3/3を除く）

（延人数：当日会場参加人数 名・当日 Zoom 参加人数 名・後日視聴者 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	5/14	PTA 活動は義務ではなく権利	幸区 PTA 協議会会長 浦山 利博	4/7/24 名
2	6/11	得意なことで先生になろう	南加瀬小 PTA 副会長 クローラン悦子	7/10/18 名
3	7/2	PTA のお金の使い方と管理	古市場小 PTA 会長 加々美 京子	8/5/25 名
4	9/10	子ども放送局について	日吉中 PTA 会長 舘 勇紀	5/6/17 名
5	12/10	PTA のこれから	幸区 PTA 協議会会長 浦山 利博	7/2/? 名
6	R5.3/3	各校の家庭教育学級 of の取組発表	社会教育振興係職員	名

18 生涯学習交流集会「さいわい学びの広場」3/18（土）実施予定

19 学習情報提供・学習相談事業（第1，3金曜日午後）

5/20～3/17（全19回）

8/5（金）夏休みイベント「ぶんぶんこまとストローヒコウキで遊ぼう！」

12/2（金）年末イベント「干支文字を書こう」

20 行政区・中学校区・地域教育会議推進事業

9/17（土）市民館ジャック

10/11（火）市民館キャンプ

1/14（土）ニューイヤーフェスタ

2/4（土）子ども会議

2/25（土）教育を語るつどい

21 地域学習・文化団体連携推進事業

7/23（土）～7/24（日）親子体験会

11/19（土）～11/20（日）幸区文化祭

11/23（水・祝）幸区文化講演会（マリンバ演奏）

22 現代的課題学習事業「動物講座（仮）」

回	日程	内容	講師	参加者
1	2/26	夢見ヶ崎動物公園の動物、バックヤードの仕事を知ろう！	夢見ヶ崎動物公園 獣医師 石川 真理子	名
2	3/5	地域の動物病院、獣医師さんの仕事を知ろう！	川崎市獣医師会	名
3	3/12	ANIMAMALLかわさきで動物の話を聞こう！	ANIMAMALLかわさき	名

23 社会教育委員会専門部会

24 刊行・広報活動

市民館だより（偶数月発行）

10月号から町内会回覧再開

25 情報機器等整備

26 寺子屋コーディネーター養成講座

全5回 全水曜日（9/10を除く）（定員20名・申込8名・延べ人数23名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	9/7 (水)	地域の寺子屋事業を知ろう	東小倉小寺子屋コーディネーター 中嶋 守、指導主事 佐藤 映子	8名
2	9/10 (土)	地域の寺子屋事業を見学しよう（体験活動）	東小倉小寺子屋コーディネーターの 皆さま	3名
3	9/14 (水)	地域の寺子屋事業を体験しよう	かながわ子ども教室 理事長 小島 啓三郎 理事 勝浦 嗣夫	4名
4	9/21 (水)	地域の寺子屋事業を見学しよう（学習支援）	西御幸小寺子屋コーディネーターの 皆さま	2名
5	9/28 (水)	地域の寺子屋をみんなで作っていこう	西御幸小寺子屋コーディネーター 斉藤 茂	6名

27 幸区多文化共生推進事業

（1）外国人市民向けオリエンテーション

回	日程	内容	講師	参加者
1	6/8（水）	外国人市民情報コーナーを広く市民に PRする	多文化共生事業実行委員長 中川 文恵	12名
2	9/4（日）	税金・保険・災害・ごみ等について	市民文化局外国人市民施策担当 専門調査員 高橋 誠一	8名

（2）多文化防災訓練

回	日程	内容	講師	参加者
1	11/13・日	緊急通報・起震車・AED・消火器等	幸消防署職員	16名

28 幸区子ども学習サポート事業（毎週水曜日午後）

（登録人数18名）

4/20～3/15（全38回）

7/27（水）夏休み宿題教室

29 市民館コミュニティ推進事業（23 団体・30 提案・61 回開催・延べ人数 1,000 名以上）

- (1) 子どもの寺子屋&ボードゲーム会
- (2) 3色パステルアート
- (3) 和文字
- (4) 若者と選挙ポスター掲示
- (5) バルーンアート
- (6) ほめ写
- (7) プラごみ分別会
- (8) 筆文字団扇
- (9) カードマジックを覚えよう
- (10) UVレジン体験会
- (11) 川崎産野菜、香辛子の普及促進販売
- (12) 一輪花束
- (13) リボンレイストラップをつくろう
- (14) ロープマジックを覚えよう
- (15) 大人のかきかた
- (16) スクラッチアート&折り紙（だれでもカフェ）
- (17) 編み物
- (18) まるいテーブル
- (19) オカリナをききませんか
- (20) 香辛子の普及促進販売
- (21) タティングレースをつくろう
- (22) クレイバラをつくろう
- (23) 工作をしよう
- (24) 多文化街歩き
- (25) キャリアコンサルタント
- (26) 骨盤ケア
- (27) 折り紙リース（だれでもカフェ）
- (28) 写真立てづくり
- (29) 松ぼっくりフクロウをつくろう
- (30) 井戸端会議

30 幸区御幸公園梅香事業

（定員 30 名・申込 25 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	12/4 (日)	「成島柳北と小向梅林」講演会	元東京情報大学教授 博士（文学）乾 照夫	22 名

令和4年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

領域	事業名		事業内容	事業数 (予算:千円) 消費税を含みます	実施計画												備考	担当	
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1 社会参加・ 推進学習事業	識字学習活動		川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。また、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う関係づくりに配慮し、多文化共生社会の実現をめざす。	2 (461)		①	5/11～3/15	午前コース		水曜午前	全33	回程度						必要に応じてオンライン学習を取り入れる場合あり	①二宮 ②細井
	識字ボランティア研修		川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、識字学習活動に関わるボランティア等の資質向上に関する学習機会を提供することにより、多文化共生社会の実現をめざす。	2 (101)						①	9/14～12/3	識字ボランティア研修〔入門〕	全10	回					①二宮 ②細井
	障がい者社会参加学習活動		地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きる地域社会の実現をめざす。	1 (61)		5/8	6/12	7/10		9/11	10/9	11/13	12/11	1/8	2/12	3/12		当面、昼食を挟まない活動を行う	二宮 細井
										第2日曜日	午前・午後	全10	回						
2 市民自治基礎学習事業	普遍的課題学習活動	平和・人権・男女平等推進学習	憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成をめざす。	2 (131)		①	11/24～R5.1/26	「平和と戦争について考える～過去・現在・未来へつなぐ世界～」	全6	回									高柳 細井
	世代別学習活動	青少年教室事業 （小学生・中学生・高校生対象事業）	小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (47)								11/26	「謎走中」（小学生対象）					地域教育会議と共催、高校生ボランティア参加	二宮
		青年教室事業 （成人対象事業）	成人期を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (47)									上記、青少年事業に含む						高柳
		シニアの社会参加支援事業	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。	1 (50)						10/6～11/10	シニアの社会参加支援事業	全5	回						高柳
		高齢者セミナー	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを推進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。	1 (56)														高齢者セミナー	全5回程度

令和4年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

領域	事業名		事業内容	事業数 (予算:千円) 消費税を含まず	実施計画												備考	担当	
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
2 市民自治基礎学習事業	子育て・共育学習活動	家庭・地域教育学級	子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	2 (116)		「子どもが楽しく食べるための学び」 5/12～6/9 全5回実施									家庭地域教育学級 全5回程度	保育については、同室保育の可能性あり	桂田 高柳		
		市民館保育活動	親等の学習活動への参加を促進し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。	5 (131)													各事業新型コロナウイルス感染症の影響により要検討	桂田	
	家庭教育推進事業	P T A家庭教育学級講師派遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な育成に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。	(*)												報告会		桂田	
		子育て支援啓発事業	地域における身近な子育て関連情報を保護者等に幅広く提供するために、子育て情報冊子等の作成・配布や、保護者同士の交流を図るための集会等の開催を行う。	1 (*)														児童室がワクチン接種会場貸出のため5月下旬から実施 新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止の場合あり	桂田
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級		市民と市民館の協働により、地域や社会の課題解決に市民自らが取り組むために必要な学びの場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化する。	未定 (148)													今年度、再募集も行ったが該当提案なし	細井	
	市民自主企画事業		地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民活動のネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	2 (152)				7/3・7/24・8/20 ① ● ● ● 7/31・8/6 ② ● ●				11/12・12/18・R5.1/15 ● ● ● 11/3 ●					①サイエンスカフェさいわい ②クローバース	松本 桂田	
	市民エンパワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (56)									12/3～R5.1/15「動画クリエイター養成講座」全5回					桂田 二宮	
		市民講師活用事業（育成）	様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう、必要な知識や技能等を学ぶための育成講座等を実施する。	1 (34)														「得意を生かそう！市民講師で」 7/2・7/9・7/16 全3回	松本 細井
		市民講師活用事業（開設）	市民講師が、地域の生涯学習における身近な学習支援者として、これまで培ってきた知識や技術等を活かしていくためのきっかけづくりとして、市民講師を活用した講座等を実施する。	1 (13)														市民講師活用事業（開設）	松本 細井
		P T A活動研修	子どもの健やかな成長を支えるP T A活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や幸区の色を生かしたP T A活動の活性化を図る。	1 (60)		5/14 ●	6/11 ●	7/2 ●		9/10 ●			12/10 ●				3/3 ●		桂田 細井

令和4年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

領域	事業名		事業内容	事業数 (予算:千円) 消費税を含まず	実施計画												備考	担当
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
3 市民化学習・市民活動 学習事業	市民エンパワーメント事業	生涯学習交流集会	いきいきとした幸区の社会教育の展開に向けた、意見交換や成果発表などの交流を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (26)												3/18 ●		二宮
		学習情報提供・学習相談事業	市民の主体的な学習活動・市民活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ、市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に対し、情報提供、助言を行う。	1 (30)					5/20～3/17	毎月第1・第3金曜午後	市民館1階ロビー							桂田
4 市民・行政協働事業・ネットワーク		行政区・中学校区地域教育会議推進事業	行政区・中学校区における学校・家庭・地域の連携による教育への市民参加システムづくりとネットワークづくりを支援・促進し、地域の教育力の向上をめざす。	1 (*)														松本
		地域学習・文化団体連携推進事業	地域の学習活動を推進している学習・文化団体(サークル連絡会・文化協会・PTA等)とのネットワーク化や事業連携の推進を通じ、市民の主体的な学習活動の活性化、地域の文化や教育力の向上をめざす。	3 (*)														①細井 ②松本 ③松本
5 現代学習事業		現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する。	1 (51)														二宮 高柳
6 市民館学習環境整備事業		社会教育委員会議専門部会	川崎市社会教育委員条例、及び川崎市社会教育委員会議規則に基づき、市民館における各種の事業の企画実施について調査審議を行う。	1			第1回 6月 ●		第2回 9月 ●			第3回 12月 ●		第4回 2月 ●				松本
		刊行・広報活動	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、市民館だより、ホームページなどの作成を行う。	1 (580)		●		①市民館だより	年6回(6月・8月・10月・12月・2月・4月)		●		●				幸市民館だより10月号から町内会回覧再開	①松本 ②各担当 ③二宮 ④高柳
		情報機器等整備	総合教育センター視聴覚センターの市民への直接的な窓口として、市民館で情報機器等の貸し出しを行う。	1 (*)														二宮
		寺子屋コーディネーター養成講座	「地域の寺子屋事業」に参画し、開設や運営等をコーディネートする市民を養成する講座を実施する。	1 (0)					9/7～9/28	全5回							教文と共催	松本
		寺子屋コーディネーター情報交換会	寺子屋コーディネーター交流集会を実施する。	1 (0)					8月 1回開催 ●								教文と共催	松本

■幸区役所の事業

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算:千円)	実施計画											備考	担当
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
幸区地域課題対応学習事業	幸区多文化共生推進事業	川崎市多文化共生推進指針に基づき、多文化共生に関して生じている地域の課題を具体的に把握し、引き続き増加する外国人市民の生活に根差した課題をサポートする内容を取り上げ、地域課題の解決に向けた取組を地域の人的資源を活かしながら、外国人市民も共に暮らしやすいまちづくりをめざす。	1 (613)	← 実行委員会（通年活動） → 6/8 外国人市民向けオリエンテーション 9/4 多文化防災訓練 11/13 多文化フェスタ 2/18 多文化フェスタ											多文化防災訓練、外国人市民オリエンテーション等	高柳松本
	幸区こども学習サポート事業	外国につながる子どもへの学習支援を地域で行いつつ、学習支援ボランティアを養成して、地域の教育力を高めながら、市民の主体的な活動を促し、「地域における子ども支援施策」を推進する。	1 (688)	← 4月～3月 「外国につながる子どものための学習サポート教室」水曜日 午後 全38回 予定 → 7/27 「夏休み宿題教室」 10/5 ボランティア研修												高柳松本
	市民館コミュニティ推進事業	「これからのコミュニティ施策の基本的な考え方」に基づく幸市民館におけるコミュニティ推進事業を実施することで、多様な主体が出会い、つながるとともに、市民が自ら地域の課題解決や活動・交流に参加していけるよう支援する。	1 (206)	← 実行委員会（通年活動） →											実施内容については、実行委員会と協議	松本高柳
	幸区御幸公園梅香事業	地域の歴史を知り、地域への愛着や誇りを育むことができるよう、歴史や地名の由来について、学ぶ機会を創設する。	1 (*)	12/4 「成島柳北と小向梅林」 成島柳北講演会及び関連図書コーナーの設置												松本二宮

令和4年度 日吉分館事業実施計画及び実施報告

—令和4年12月21日第2回幸市民館専門部会—

1 家庭・地域教育学級

幼児と親の学級(全9回) 定員10組

親+子=合計

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	10月 7日(金)	学習の進め方・保育について説明	8+7=15
2	10月 14日(金)	自己紹介・オリエンテーション	7+7=14
3	10月 21日(金)	家庭での事故、病気予防について	7+7=14
4	10月 29日(ど)	より良いパートナーシップを築こう	5(3)*8+5 =13
5	11月 4日(金)	子育て中のイライラと上手に付合う方法	7+7=14
6	11月 11日(金)	子どもに伝わる怒り方について	7+7=14
7	11月 18日(金)	子どもの歯について学ぼう	6+6=12
8	11月 25日(金)	子どもに合った絵本選び	5+5=10
9	12月 2日(金)	学級のまとめ・今後の子育てについて	7+6=13

* (3)はパートナーの参加人数

2 市民館保育活動

「幼児と親の学級」参加者向け保育 (全9回)

10月7日から12月2日に実施

3 子育て支援啓発事業

「子育てパーク・日吉 ひろばであそぼう」 定員 各 10 組

・ひよこクラス(0歳～1歳6ヶ月) 第3木曜日(5月～7月、9月～2月全9回)
7月21日は中止 12月15日まで 6回実施 参加者 延べ67組 135人

・パンダクラス(1歳7ヶ月～3歳) 第1火曜日(5月～7月、9月～2月全9回)
12月6日まで 7回実施 参加者 延べ40組 83人

4 市民エンパワーメント研修

「地域の歴史を語りつなげよう」(全5回)

定員20名

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	7月2日(土)	日吉郷土史会の活動について	19
2	8月6日(土)	日吉の古代史	16
3	9月3日(土)	日吉の中世史	18
4	10月1日(土)	日吉の近世史	15
5	11月5日(土)	日吉の現代史 今後の活動について	17

5 生涯学習交流集会

「さくらフェスタ日吉」 令和5年3月12日(日)実施予定

日吉分館市民実行委員会 毎月開催

さくらフェスタ日吉拡大実行委員会 第1回 令和4年9月27日(火)実施

第2回 令和4年12月16日(金)実施

6 市民自主企画事業

「MOTTO まちのテーブル事業」(全11回)

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	5月18日(水)	バルーンアートを楽しもう	6
2	6月15日(水)	みつろうラップを作ろう	14
3	7月20日(水)	工作教室「すっとびロケット」「さいころマジック」	20
4	8月17日(水)	自由研究工作「ビー玉万華鏡」	16
5	9月21日(水)	手品をみて体験しよう	13
6	10月19日(水)	野菜スタンプでランチマットまたはランチクロスを作ろう	15
7	11月16日(水)	牛乳パックランタンづくり	22
8	12月21日(水)	絵手紙で年賀状をつくろう	—
9	1月18日(水)	折り紙 節分鬼の面づくり+読み聞かせ	—
10	2月15日(水)	くるくる回るコマを作って遊ぼう	—
11	3月15日(水)	読み聞かせ+オカリナコンサート	—

7 シニアの社会参加支援事業

「スマホでつながり力を高めて健康シニアライフ」(全2回×2回)

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	8月25日(木)	つながり力と健康寿命に関する研究の紹介	5
2	9月1日(木)	スマホを使ったつながり力アップ	5

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	9月22日(木)	つながり力と健康寿命に関する研究の紹介	11
2	9月29日(木)	スマホを使ったつながり力アップ	10

8 高齢者セミナー事業

「楽しく学ぶ 認知症予防講座」 令和4年9月8日(木) 参加人数 11名

9 地域コミュニティ交流・学習事業

(1) 生涯学習体験教室

竹細工づくり 12月10日(土) 参加人数 10名

(2) 日吉あそびっ子クラブ(全4回) 定員20名

回数	実施日	内 容	参加者 (人)	スタッフ (人)	ボランティア (人)
1	8月1日(月)	みんなでゲームをしよう	17	4	2
2	8月3日(水)	百人一首とカルタ大会	19	4	2
3	8月8日(月)	いろいろなものを飛ばしてみよう	19	5	2
4	8月10日(水)	ランタン作り	18	7	4

(3) 夏休み・アニメ映画会 8月5日(金) 中止

(4) オータムミュージックフェア 11月19日(土) 参加人数 38名

10 地域課題対応事業 地域資源を活かしたまちづくり事業

「日吉のタカラモノ活用事業」

(1) ネットワーク新聞発行

9月 26日 第28号 5,000 部発行

(2) 地域をおさんぽ！てくてく日吉（全2回）

回数	実施日	内 容	参加者 (人)	スタッフ (人)
1	11 月 6 日(日)	小倉池はどこ？	12	3
2	11 月 29 日(火)	絵本とアートとむかしばなしと	15	4

「郷土の歴史と文化を活かした日吉まちづくり事業」

「加瀬山と日吉地区の歴史」（全2回）

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	2月4日(土)	加瀬山の古代から江戸時代まで	—
2	2月25日(土)	加瀬山の近世史	—

領域	事業名		実施計画	事業数 (予算)	年間スケジュール												担当
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市民自治基礎学習事業	子育て・ 動・共育学習活	家庭・地域教育学級	2歳～3歳（就園前）の子どもを持つ親子15組で実施。毎週金曜、全9回を予定している。	千円 1 (70)								10/7～12/2	「幼児と親の学級」金曜日A（全9回）		小柳 小原（保育）		
		市民館保育活動	家庭・地域教育学級における保育を予定。必要によりほかの事業においても保育活動を実施する。	千円 1 (20)								10/7～12/2	「幼児と親の学級」金曜日A（全9回）		小原		
	家庭 進捗事業推	子育て支援啓発事業	3歳以下の幼児と親を対象に、自由遊び、自由交流、保育士との遊び、育児相談等を毎月第3木曜日（0才～1才6か月・5月～7月、9月～2月）と第1火曜日（1才7か月～3才・5月～7月、9月～2月）に実施。	千円 1 (0)		5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	ひろばであそぼう（1歳7ヶ月～3歳）第1火曜日（全9回）								小原		
市民学習・市民活動活性化事業	市民エン パワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取組むことができるように支援する学びを実施する。	千円 1 (70)				7～11月 第1土曜日実施（全5回）							小原		
		生涯学習交流会	日吉分館及び地域で活動するサークル・個人による学習活動の発表―楽器演奏、舞踊、合唱、紙芝居、読み聞かせ、ストーリーテリング、作品の展示等。	千円 1 (40)									「さくらフェスタ日吉」3/12開催予定		末次 小柳 小原		
	市民自主学級	地域や社会の課題などの解決に向けた市民の学習の場づくりを、市民と行政が協働して行い、自主的に企画・運営するものとして、生涯学習・市民活動を推進し、地域づくりへの参画を支援する	千円 未定 (95)											小柳			
	市民自主企画事業	地域の子どもからお年寄りまで世代を問わず交流できる場を提供し、地域共生や文化などの大切さを学びながら多世代交流を行うことで、顔の見える関係が築けるまちづくりを支援する。	千円 1 (100)			MOTTO まちのテーブル5～3月 毎月第3水								小柳			
	学習情報提供・学習相談事業	学習相談については、随時、受付中。	千円 1 (10)	通年											小柳 小原		
ネット・行政協働事業・学習・	課題別連携事業	広場・交流事業	乳幼児を持つ親が自由に交流でき、情報交換のできる「子育てひろば」を実施。	千円 1 (0)									今年度実施なし		小原		
対応学習事業	現代的教育課題	成人対象事業	成人期を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	千円 1 (40)									今年度実施なし		小柳		
		シニアの社会参加支援事業・シニアの社会参加活動	地域に住む、シニア層を対象に、地域活動への参加や、地域間の交流、仲間作りをめざした講座を企画していく。	千円 1 (36)						スマホ講座①8/25・9/1（全2回）②9/15・22（全2回）					小柳		
		地域コミュニティ交流・学習事業	学校・学年を超えた地域の子どもの遊びや体験学習を通じて友情を深め、交流を図る。また、1日体験教室を実施し、それをきっかけにサークル化をはかり、市民の生涯学習振興の要求にこたえる。	千円 1 (60)						●8月1、3、8、10日 「日吉あそびっ子クラブ」（全4回） ●8月5日夏休みアニメ映画会中止		●11月19日オータムミュージックフェア ●12月10日生涯学習体験教室		小柳 小原			
市民館学習環境整備事業	刊行・広報活動	市民館だよりを年間6号発行、ホームページの更新も定期的に行っている。また、1月からは、活動報告書作成の準備作業に入る。	幸市民館にて計上				市民館・分館だより 年6号＋市民自主特集号								小柳		
					ホームページ更新（通年）									1月～ 活動報告書・要覧作成			

令和4年度 日吉分館 地域課題対応事業 実施計画

領域	事業名	実施計画	事業数 (予算)	年間スケジュール												担当
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域資源を 活かした 地域課題 対応事業	日吉のタカラモノ活用事業	自然・環境・歴史・文化・子育ての分野において活動する団体・個人がネットワークをつくり、関係行政機関・地域団体等と連携を図りながら、地域固有のまちの資源を活かした身近なまちづくり事業に取り組む。 文化・自然・環境・史跡・伝統行事等を地域の市民が共有できるよう地域を知るための世代間交流や子ども向けワークショップの実施、伝統行事の紹介など個性豊かな事業を展開し、地域文化を次世代まで守り・語りつなげていくことを目的とする。日吉のタカラモノかるた、郷土民話「夢見ヶ崎ものがたり」の紙芝居、「小倉池の玉手箱」の紙芝居、絵本、大型絵本を作成し、貸し出し中。 地域参加の入口として、日吉の宝物を巡る「地域をおさんぽ！『てくてく日吉』」を開催。	千円 1 (235)						●9月26日	ネットワーク新聞第28号発				●1月（土）開催予定の「地域ふれあいの会」参加		小柳 小原
	郷土の歴史と文化を活かした日吉まちづくり事業	メインのメニューである歴史学習会「日吉の歴史をさぐる」は各回で郷土の歴史のさまざまなテーマに焦点をあてて、多彩に実施予定。加瀬山のボランティアガイドは随時実施している。地域の子ども達向けのガイドを実施。今年も子ども向けイベントを計画中。	千円 1 (113)									てくてく日吉（11月6日・29日実施） ↔		2月4日・25日 歴史講座「加瀬山の歴史」 ↔		鈴木 小柳

令和4年度・5年度 幸市民館専門部会 審議計画（案）

令和4年度

回	審議内容	日程
1	・審議テーマの検討	令和4年 6/26
2	・審議テーマの決定 ・審議計画の検討	9/12
3	・審議計画に基づき調査審議①	12/21
4	・審議計画に基づき調査審議② ※市民自主学級・市民自主企画事業の選考	令和5年 2月

令和5年度

回	審議内容	日程
5	・審議計画に基づき調査審議③ ※市民自主学級・市民自主企画事業の選考 (追加募集)	令和5年 6月
6	・審議計画に基づき調査審議④ ・調査審議のまとめ ・報告書案の検討	9月
7	・報告書の作成①	12月
8	・報告書の作成② ※市民自主学級・市民自主企画事業の選考	令和6年 2月